



# Release 9.1 の 新機能と変更点

このドキュメントは、Unify NXJ Release9.1A から 9.1C までの新機能と変更点と、マニュアルの参照先をリストにしています。

Release 9.1B と 9.1C には、他にもいくつかの変更点や修正された箇所があります。詳細は、[NXJHome>\doc\fixed\\_bugs.html](mailto:NXJHome>\doc\fixed_bugs.html) を参照してください。

## Release 9.1A 新機能と変更点

機能	マニュアル
<b>新規サードパーティツールのサポート</b>	
Borland アプリケーションサーバ。	Unify NXJ ReadMe の「サードパーティツール」を参照してください。
<b>アプリケーションデザイン</b>	
Date、Time、DateTime、Float データタイプの表示フォーマットの機能拡張。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 5 章「Display Format」を参照してください。
Field-level help のサポート。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 5 章「Field-Level Help」を参照してください。
DateTime の新しいデフォルト表示フォーマット。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 5 章「Display Format」を参照してください。
フォームに埋め込み HTML ドキュメントが配置となる Inline frame コントロール。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 5 章「Inline Frame コントロール」を参照してください。
Checkbox コントロールの機能拡張。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 5 章「Checkbox コントロール」を参照してください。
NXJ デザインセンタで、データベースコネクションの情報をリフレッシュする機能。	『Unify NXJ 開発者ガイド』の第 3 章「追加データベースコネクションの設定」を参照してください。
<b>アプリケーションの実行</b>	
実行時、新しいブラウザウィンドウをオープンする、もしくはインラインフレームに URL をオープンすることができる機能。	NXJ Javadoc で NXJSession ファウンデーションクラスの openURL メソッドを参照してください。

---

## Release 9.1B 新機能と変更点

---

機能	マニュアル
<b>アプリケーションデザイン</b>	
追加するアプリケーション全体の表示フォーマットのデフォルトを設定する機能。	NX <sup>J</sup> Javadoc で NXJSession ファウンデーションクラスの amountFormat と floatFormat fields を参照してください。
クライアントのロケールに基づく表示フォーマットのデフォルトを設定する機能。	<i>Localizing an NX<sup>J</sup> Application</i> を参照してください。
<b>アプリケーションの実行</b>	
Immediate プロパティの設定による効果が変わる。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第5章「イベントセッションの即時実行」を参照してください。
検索条件で使用される演算子をカスタマイズする機能。	NX <sup>J</sup> Javadoc で NXJSession ファウンデーションクラスの searchRangeOperator field と searchOrOperator を参照してください。
クライアントのロケールに基づいて、検索条件で使用される演算子を設定する機能。	<i>Localizing an NX<sup>J</sup> Application</i> を参照してください。
JSP とサーブレットコードのサポート。	Unify NX <sup>J</sup> FAQ <a href="http://support.unify.com/faq/faq.php">http://support.unify.com/faq/faq.php</a> を参照してください。
マルチ言語のシングルアプリケーションを配備する機能。	<i>Localizing an NX<sup>J</sup> Application</i> を参照してください。
プロパティファイルからメッセージのローカライズされたバージョンを取り込む機能。	<i>Localizing an NX<sup>J</sup> Application</i> を参照してください。
<b>ドキュメント</b>	
新ローカライズガイド	<i>Localizing an NX<sup>J</sup> Application</i> を参照してください。

---

## Release 9.1C 新機能と変更点 ( 1 / 2 )

---

機能	マニュアル
<b>新規サードパーティツールのサポート</b>	
Oracle9iAS Containers for J2EE (OC4J)	Unify NX <sup>J</sup> ReadMe の「Third-party tools」を参照してください。
IBM Informix Dynamic Server (IDS) 9.3	『Unify NX <sup>J</sup> チュートリアル』の第 2 章を参照してください。
BEA WebLogic Platform 7.0	
<b>アプリケーションデザイン</b>	
コントロールを拡大すると、フォームが拡大してスクリーンを移動します。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「コントロールのサイズの変更」を参照してください。
Button コントロールと Link コントロールのためのロールオーバーイメージが可能となりました。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Button コントロール」と「Link コントロール」を参照してください。
Unify NX <sup>J</sup> デフォルトツールバーをカスタマイズする機能。	<a href="http://www.unify.com/products/nxj/documentation/supplemental/index.htm">http://www.unify.com/products/nxj/documentation/supplemental/index.htm</a> で「Creating a Custom NX <sup>J</sup> Toolbar」を参照してください。
Radio Button コントロールをレイアウトする方法が変更。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Radio Button コントロール」を参照してください。
Tab Set のタブの順序を変更する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Tab Set コントロール」を参照してください。
各コントロールタイプのための個別のスタイル設定。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 6 章「スタイル定義の使用」を参照してください。
Dynamic Text コントロールのテキストの整列を指定する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Dynamic Text」を参照してください。
Web ブラウザウィンドウの表示位置およびサイズを指定する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> Developer's Guide』の第 4 章「Web Browser Window Placement and Size」を参照してください。
<b>アプリケーションの実行</b>	
ズームフォームより呼び出しもとのフォームに値が返される方法が変更。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 4 章「ズームフォームの作成」を参照してください。
jBiz を使用して動的にリストボックスを作成する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Listbox コントロールと Dropdown Listbox コントロール」を参照してください。『Unify NX <sup>J</sup> jBiz 言語ガイド』の第 3 章「jBiz 文でのフィールドへのアクセス例」を参照してください。

---

---

## Release 9.1C 新機能と変更点 ( 2 / 2 )

---

機能	マニュアル
データベースタイムアウトの状態のステータスコード SS_TIMEOUT の追加。	NX <sup>J</sup> Javadoc で NXJSession クラスの <b>status</b> プロパティを参照してください。
Windows のキーボードコマンドを使用してタブセットを操作する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> ユーザズガイド』の第 1 章「Next Tab」と「Previous Tab」を参照してください。
jBiz と Java でエラーハンドラの機能をサポート。	NX <sup>J</sup> Javadoc で NXJExceptionHandler インタフェースを参照してください。
Listboxes、Dropdown list と Radio group で auto-accept プロパティを指定する機能。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Auto Accept」を参照してください。
対応するデータビューを指定するためのコマンドが追加されました。	『Unify NX <sup>J</sup> 開発者ガイド』の第 5 章「Button コントロール」と「Link コントロール」を参照してください。
データビュー上で CLEAR_TO_ADD コマンドが実行された後、データビューの最初のフィールドがカレントとなります。	『Unify NX <sup>J</sup> jBiz 言語ガイド』の第 3 章「Clear-to-add 操作」を参照してください。
テキストフィールドや、テキストエリアコントロールがカレントとなる時、ユーザがマウスポインタでフィールド内をクリックしなくても、テキストが全て選択されるようになりました。これにより、フィールドコントロールが上書きされる状態となります。	なし。
<hr/> <b>ドキュメント</b>	
レコードの削除 / 追加 / 更新に関する情報は、Unify NX <sup>J</sup> ユーザーズガイドに追加されました。	『Unify NX <sup>J</sup> ユーザーズガイド』の第 3 章と第 4 章を参照して下さい。
使用方法に関する情報と jBiz コードの例は、NX <sup>J</sup> Javadoc に追加されました。	NX <sup>J</sup> Javadoc を参照してください。
NXJ ツールバーをカスタマイズする方法に関しては、新しく追加されたドキュメントに記載されています。	<a href="http://www.unify.com/products/nxj/documentation/supplemental/index.htm">http://www.unify.com/products/nxj/documentation/supplemental/index.htm</a> で「Creating a Custom NX <sup>J</sup> Toolbar」を参照してください。

---